

昭和45年春季年会

講演予稿集

於 文京区民センター

東京都文京区本郷4の15の14

日本天文学会

日本天文学会1970年春季年会

プログラム

日時 昭和45年5月12日(火), 13日(水), 14日(木), 15日(金)

場所 東京都文京区本郷4の15の14 文京区民センター

午前	9時	10	11	12	午後	1時	2	3	4	5	6	7時	講演 番号
5月12日(火)		太陽系		位置・時間	評議員会		位置・時間			力学			1 ~ 36
5月13日(水)	輻射輸達	太陽	メキシコ日食			太陽		H II領域		へび座新星		総会	37 ~ 72
5月14日(木)		星			理事会		星					懇親会	73 ~ 104
5月15日(金)		恒星天文	銀河系外			銀河系外		宇宙論					105 ~ 131
	9	10	11	12		1	2	3	4	5	6	7	8

☆ 講演者は時間厳守に御協力をお願いします。

☆ 12日 正午より評議員会, 13日 午後5時より総会, 14日 正午より理事会を開催致します。

☆ スライドには, スライドを手にとりて透視した時に正しい上下左右関係となるように保持して, その手前側上方に講演番号, 氏名, 映写番号を書き, 下縁に5mm くらいの幅に赤線をつけて下さい。

第 1 日 5 月 12 日 (火)

〔午前〕(9時より)

1. 中村信之(宮城県工業技術センター):惑星の扁率…………… 6
2. 前野進一,長沢 工*(埼玉大教育,*東大地震研):写真観測による四分儀座流星の軌道計算……………☒ 6
3. 関口直甫,松本樽逸(東京天文台):月面反射光の偏光測光装置……………☒ 8
4. 竹内端夫,富田弘一郎,橋 篤志*,山元有次*,村沢健吾*(東京天文台,*日立製作所):レーザーによる月の測距の実験計画……………☒ 8
5. 蒲生 格(メリーランド大学):遊星天文学に関係深い二原子分子の熱力学関数(I)…………… 8
6. 岩崎恭輔(花山天文台):金星大気における温室効果とマイクロ波の吸収……………☒ 8
7. 田中 済(東大理):木星における吸収線の周縁効果について……………☒ 8
8. 渡辺 堯,柿沼隆清(名大空電研):32.1MHzにおける木星電波の観測……………☒ 6
9. 畑中至純(東京天文台):掩蔽観測から得られた海王星の形状……………☒ 8
10. 香西洋樹,石田蕙一(東京天文台):多胡-佐藤-小坂彗星(1969g)について……………☒ 8
11. 山下泰正(東大理):多胡-佐藤-小坂彗星(1969g)のスペクトルについて……………☒ 8
12. 中村 士,富田弘一郎*(東大理,*東京天文台):彗星の分光スキヤン……………☒ 8
13. 日下 遼,中野武宣*,林忠四郎(京大理,*京大基研):惑星の形成…………… 8
14. 飯島重孝,虎尾三春,藤原 清(東京天文台):時計運搬による国際時計比較(2)……………☒ 8
15. 飯島重孝(東京天文台):地球自転にチャンドラー周期成分はない……………☒ 8
16. 飯島重孝,岡崎清市(東京天文台):地球自転の短周期スペクトラム……………☒ 8

第 1 日 5 月 12 日 (火)

〔午後〕(1時より)

17. 菊地直吉(緯度観測所):地球の回転運動と大気圧の年周変化……………☒ 8
18. 弓 滋,R. O. Vicente*(緯度観測所,*リスボン大学):CIO系における北極座標値(1899—1968)……………☒ 8
19. 岡崎清市,名阪満洋子(東京天文台):時刻・緯度観測より求めた極座標の差異の検討……………☒ 8
20. 高木重次(緯度観測所):経度・緯度同時観測による極運動……………☒ 8
21. 須川 力,大江昌嗣(緯度観測所):IPMS 経緯度観測から導かれたチャンドラー項(I)……………☒ 8
22. 奥田豊三(緯度観測所):天文経緯度観測から導かれる Geoid の変形……………☒ 8
23. 大江昌嗣(緯度観測所):ILS の z 項から求めた日周自由章動項……………☒ 8
24. 若生康二郎(緯度観測所):半年周期章動項の理論値と観測の比較……………☒ 6
25. 須川 力,角田忠一,松倉秀夫*(緯度観測所,*仙台管区气象台):極運動に及ぼす太陽活動の影響(I)……………☒ 8
26. 高木重次,横山紘一(緯度観測所):極運動に対する海洋潮汐の影響……………☒ 8
27. 内藤勲夫(緯度観測所):大気の tangential stress による excitation function ϕ_s (I)……………☒ 8
28. 安田春雄,宮内良子(東京天文台):月の観測による基本星系の検討……………☒ 8
29. 横山紘一(緯度観測所):歳差常数系と z 項について……………☒ 8
30. 青木信仰,角田忠一*(東京天文台,*緯度観測所):黄道傾斜角の永年変化と地球流体核運動……………☒ 8
31. 堀 源一郎(東大理):新しい摂動論による人工衛星の運動……………☒ 8
32. 木下 宙(東京天文台):等方調和振動子の展開……………☒ 8
33. 堀 源一郎,木下 宙*(東大理,*東京天文台):擬似 2 体問題について……………☒ 8
34. 堀 源一郎,湯浅 学(東大理):3 体問題における escape の数値解析……………☒ 6
35. 古在由秀(東京天文台):制限 3 体問題の周期軌道のグラフ……………☒ 8
36. 北村正利(マンチェスター大学,東京天文台):ラグランジュ平衡三角点を含む零速度曲面について……………☒ 6

第 2 日 5 月 13 日 (水)

〔午前〕(9時より)

37. J. Casti, R. Kalaba, 上野季夫* (南カリフォルニア大学工, *京大理): 変分法による輻射輸達式の解について 8
38. 上野季夫 (京大理): 非線型輻射輸達式の解について 8
39. 上野季夫 (京大理): Rayleigh 散乱に対する偏光輻射輸達行列式の解について 8
40. 向井苑生, 上野季夫 (京大理): 大気内における輻射の減衰関数値について 8
41. 福井 満, 河鱈公昭, 小島正宣, 祖父江義明 (名大理): 35 GHz 干渉計について 8
42. 田中春夫, 鰐目信三 (名大空電研): 太陽マイクロ波バーストの高時空間分解観測 8
43. 田中春夫 (名大空電研): 太陽電波強度の絶対測定について 8
44. 松丸 勝 (防衛大学校): 簡易形 VTR を利用した太陽面の観測の概要 6
45. 長沢進午, 鈴木利和* (東京理科大, *東京天文台): 黒点相対数について 6
46. 日江井栄二郎 (東京天文台): フレアのスペクトルについて 6
47. 高倉達雄, 渋谷暢孝, 大木健一郎, 小田 稔*, 西村 純*, 松岡 勝*, 小川原嘉明*, 宮本重徳*, 藤井正美*, 太田茂雄* (東京天文台, *宇宙航空研): 太陽硬 X 線バーストの強度分布測定 8
48. 斉藤国治, 牧田 貢, 秦 茂, 東条 新 (東京天文台): 1970 年 3 月 7 日メキシコ皆既日食観測概報 8
49. 黒河宏企, 椿都生夫*, 神野光男** (花山天文台, *大分大教育, **飛驒天文台): メキシコ日食観測の予備報告 8
50. 森 巧, 久保良雄 (水路部): メキシコ日食観測概報 8

第 2 日 5 月 13 日 (水)

〔午後〕(1時より)

51. 神野光男 (飛驒天文台): 1962 年日食における水素スペクトルの解析 8
52. 中山公彦 (花山天文台): 太陽彩層の金属量について 6
53. 田中捷雄 (東大理): ペルー日食の金属線 (2) 8
54. 平山 淳 (東京天文台, ハワイ大学): 彩層の電子密度分布 8
55. 平山 淳 (東京天文台, ハワイ大学): ペルー日食の薄炎の分光解析 8
56. 平山 淳 (サクラメント・ピーク天文台, 東京天文台): サックピークの紅炎 (I) 観測とデータ処理 6
57. 久保田 諄, J.L. Leroy* (花山天文台, *Pic-du-Midi 天文台): He I D₃ および He II 4686 Å の光によるプロミネンスの単色像 6
58. 河鱈公昭 (名大理): コロナル・コンデンセーションの起源について 8
59. 内田 豊 (東京天文台): モートン波によるコロナ磁場構造の診断 (II) 8
60. 柿沼隆清, 渡辺 堯, 鷲見治一 (名古屋大学空電研究所): 電波星シンチレーションの観測 8
61. 桜井健郎 (京大工): 経度依存性のある太陽風 8
62. 桜井健郎 (京大工): 光球面上のロスビー波による負粘性 8
63. 吉村宏和, 加藤正二 (東大理): 対流層球殻の微分回転 8
64. 磯部瑋三 (東京天文台): 夜空の H α 輻射 8
65. 石田憲一, 大橋 満, 磯部瑋三, 栗原英明* (東京天文台, *埼大教育): NGC 1976, NGC 2175, IC 434 の H α 線強度分布 8
66. 佐藤文男 (千葉県教育センター): IC 1795 の中心星に現れた星間吸収線 (2) 6
67. 川尻 轟大, 河野宣之, 尾嶋武之 (電波研究所鹿島支所): 4 GHz 帯電波による NGC 7000 領域のサーベイ 8

68. 小平桂一 (東京天文台) : H II 領域の密度と大きさの関係 8
69. 市村喜八郎, 清川正男, 中桐正夫, 西村史朗, 野口 猛, 清水 実, 渡辺悦二 (東京天文台) : 蛇座新星の (U, B, V) 光電測光観測 6
70. 野口 猛, 市村喜八郎, 小平桂一 (東京天文台) : 蛇座新星極大付近の連続輻射分布 6
71. 清川正男, 菊池 仙 (東京天文台) : 蛇座新星のスペクトル 6
72. 成相恭二, 清水 実, 野口 猛 (東京天文台) : 蛇座新星の高分散スペクトル 6

第 3 日 5 月 14 日 (木)

[午前] (9時より)

73. 田鍋浩義 (東京天文台) : 星像直径高速測定装置 8
74. 田鍋浩義, 森 敬子 (東京天文台) : 北極星野の star-counting 8
75. 小平桂一 (東京天文台) : 早期 B 型星のスペクトル分析 8
76. 成相恭二 (東京天文台) : ガス殻星牡牛座 ζ 星のモデル 8
77. 石川雅章 (東大理) : δ Scuti 型星 δ Delphini の分光解析 8
78. 小林英輔, 竹内 峯 (東北大理) : ケフェウス座 δ 星のスペクトル (III) 8
79. 菊池 仙, 清川正男 (東京天文台) : 水素線 $H\alpha$, $H\beta$ の狭帯域光電測光 6
80. 西村史朗 (東京天文台) : A・F 型星の Ca II K 線強度 6
81. 前原英夫 (東大理) : 長周期変光星の大気構造 8
82. 前原英夫 (東大理) : 長周期変光星の元素比量について 8
83. 斉藤 衛, 佐藤英男 (東京天文台) : 32 Cygni の分光測光 8
84. 斉藤 衛 (東京天文台) : ζ Aur の K 型星成分の外層大気構造について 8
85. 藤田良雄 (東大) : 炭素星における [CI] 8727 線について 8
86. 磯部瑋三 (東京天文台) : 惑星状星雲と赤色超巨星の星間塵 8
87. 磯部瑋三 (東京天文台) : FK 4-システムの系統誤差の全吸収と色超過の比 R への影響 8
88. 辻 隆 (東大理) : M-dwarf の大気構造 (IV) 8

第 3 日 5 月 14 日 (木)

[午後] (1時より)

89. 市村喜八郎, 野口 猛, 渡辺悦二, 岡田隆史, 沖田喜一 (東京天文台) : フレア星の連続観測 6
90. 北村正利 (マンチェスター大学, 東京天文台) : ロッシュ座標の幾何学的形態とその天文学的意義 8
91. 北村正利 (マンチェスター大学, 東京天文台) : 回転重力双極子の場における流体力学
I. 近接連星のガス状リングの問題 8
92. 佐藤弘一, 岡本 功 (緯度観測所) : 大熊座 W 型星の質量比について 8
93. 近藤正明 (東大教養) : 主系列星の角運動量損失について 8
94. 尾崎洋二 (東大理) : 回転星の非動径振動 8
95. 尾崎洋二 (東大理) : 回転星の対流外層でのエネルギー輸達 8
96. 尾崎洋二 (東大理) : 双子座 U 型星の爆発のモデル 8
97. 松岡 勝, 宮本重徳, 小田 稔, 小川原嘉明 (東大宇宙研) : Sco-X-1 の熱いプラズマ雲としての性質 8
98. 河野宣之, 川尻 轟大 (電波研究所鹿島支所) : X線源 GX 333+25 付近の 4 GHz 帯電波によるサーベイ 6
99. 平沢敏晃, 武谷三男, 会津 晃 (立大理) : パルサーの進化と電波発生のおくみ 8
100. 下田真弘, 谷川清隆 (東大理) : 球状星団の光度関数 (III) 8
101. 下田真弘, 谷川清隆 (東大理) : 球状星団 M5 の巨星, 漸近, 水平枝 8
102. 柴田行男 (東北大理) : 晩期型主系列星のモデル 8

103. 杉本大一郎 (東大教養) : 星の深い対流層による物質の混合…………… 8
 104. 池内 了, 中沢 清, 村井忠之, 蓬茨雲運, 林忠四郎 (京大理) : 進化の進んだ星 (II) …… 8

第 4 日 5 月 15 日 (金)

〔午前〕 (9 時より)

105. 藤本光昭 (名大理) : 粘性ガスからなる回転楕円体の非線型運動…………… 8
 106. 坂下志郎 (北大理) : 恒星と星間気体の相互作用…………… 6
 107. 新見英幸 (京大工) : 星の集団の流体力学的方程式…………… 8
 108. 加藤正二 (東大理) : 円盤状恒星系の速度分布関数と流体方程式…………… 8
 109. 藤本光昭, 棚橋康彦 (名大理) : 星間ガスのローリング運動…………… 8
 110. 水野孝雄, 藤本光昭 (名大理) : 棒渦巻星雲の腕の形成について…………… 8
 111. 宮本昌典 (東京天文台) : 円盤状恒星系における速度分布…………… 8
 112. 清水 彊, 北村静一* (京大理, *大阪府教育センター) : 二次元恒星系の渦状構造…………… 8
 113. 加藤正二 (東大理) : 回転恒星系の非ジーンズ的不安定性…………… 8
 114. 新見英幸 (京大, 工) : 星-重力波の相互作用による星間気体の乱流の励起 …… 6
 115. 馬場義男 (京大理) : 揺動力の空間相関および時間変化について…………… 6
 116. 大脇直明, 松波直幸*, 石田蕙一* (電子航法研, *東京天文台) : Galaxies の 3 次元構造の観測 (V)…………… 8
 117. 作花一志, 岡祥三郎, 若松謙一, 昆野正博 (京大理) : Galaxies の中心域の構造 (I) NGC 2782, NGC 4670…………… 8
 118. 兼古 昇 (北大理) : セイファート星雲の核構造 (III) …… 8
 119. 石田蕙一 (東京天文台) : セイファート星雲の中心核のモデル…………… 8
 120. 会津 晃, 田原博人 (立教大理) : QSO および Seyfert 銀河の Small Component…………… 8

第 4 日 5 月 15 日 (金)

〔午後〕 (1 時より)

121. 小暮智一 (茨城大理) : 星雲中心核における電波バーストについて (II) …… 8
 122. 宝田克男 (京都工芸繊維大) : 準星およびセイファート銀河中心核の電波バースト…………… 8
 123. 会津 晃, 平沢敏晃, 田原博人 (立教大理) : QSO の電波スペクトル …… 8
 124. 吉岡 蕃 (名大理) : 準星の時間変化とシンチレーション…………… 8
 125. 土佐 誠 (東北大理) : 二重電波源の形成について…………… 8
 126. 高瀬文志郎 (東大理) : 銀河の空間分布と色指数の関係…………… 8
 127. 近藤正明 (東大教養) : 膨張宇宙における凝縮形成…………… 8
 128. 坂井一雄 (東大理) : 膨張宇宙における銀河形成について…………… 8
 129. 祖父江義明 (名大理) : 非線型熱不安定性の数値実験…………… 8
 130. 木原太郎, 東辻浩夫 (東大理) : Galaxies の空間分布相関の Simulation…………… 8
 131. 木原太郎, 三好和憲 (東大理) : 膨張宇宙における磁場の起源…………… 8

講演予稿集について: 特別会員には 1 部ずつ無料で配布致します。その他の方および特別会員で 2 部以上希望される方は 1 部につき送料とも 200 円でおわけ致します。なお, 当日, 年会会場でもおわけ致します。